

パラアート (障害者アート) 国際交流活動事業

公益財団法人 日本チャリティ協会

〒160-0004 東京都新宿区四谷 1-19 アーバン四谷ビル 4 階

助成事業の概要

「2019 パラアート フェス TOKYO」 第 6 回国際交流展

「東アジア文化都市 2019 豊島」を記念し、障害者芸術の充実と拡大を企画して、日・中・韓を主軸に絵画と書の作品を、児童の作品も含め展示、開催しました。

【開催日時】

令和 1 年 11 月 20 日 (水) ~ 24 日 (日)

10 時から 18 時まで (会期: 5 日間)

【開催場所】

としまセンタースクエア

(豊島区役所庁舎 1 階: 豊島区南池袋 2-45-1)

【来場者数】

延べ 1,408 人

【作品展示】

196 点 (応募数 702 点)

絵画作品 日本 52 点 児童 63 点 (日本 43 点、
外国 20 点) 中国 16 点、韓国 6 点、その他外国
24 点

書作品 日本 20 点 中国 7 点 韓国 8 点

【参加国】

21 か国

〈記念ワークショップの開催〉

「書いてみよう!」「描いてみよう!」

20 日 14 時~ 15 時 30 分

「書」講師: 金澤泰子・指導: 金澤翔子 (書家)

23 日 10 時 30 分~ 12 時

「絵画」講師: 八木道夫 (聴覚障害者芸術協会会長)

23 日 14 時~ 15 時 30 分

「マンガ」講師: ウノ・カマキリ (漫画家協会常務理事)

〈クロージングパフォーマンス〉

11 月 24 日「東アジア文化都市 2019 豊島」の閉会に併せ、10 時 30 分より会場にて、クロージングセレモニーとパフォーマンスを行いました。

出演者

三味線-踊 正太郎、ダンス-大前 光市、サクソフォン-張 麗娟、和太鼓-友野 龍士

事業の成果

「2019 パラアート フェス TOKYO」第 6 回国際交流展

当協会では、2020 年東京オリンピック・パラリンピック開催に合わせ、「2020 パラアート TOKYO (仮称)」国際交流展を企画しています。そのため、障害者アート (パラアート) の国際展である「アジア・パラアート TOKYO」国際交流展を 2009 年から日中韓の 3 か国を中心として開催してきました。今回は、障害者の文化・芸術の拡大を意図して障害者によるパフォーマンスの紹介や児童の作品の充実を計りました。また、「東アジア文化都市 2019 豊島」のパートナーシップ事業として 1 年間に様々な事業が展開されましたが、そのクロージングを飾るイベントとして

も選定され日・中・韓・中心に「2019 パラアート フェス TOKYO」第6回国際交流展を開催しました。

当協会のホームページの改良や、英語版の募集ページを作成しインターネットを通じて海外への周知拡大を図りました。

開催初日には、日本の「伝統文化」である書のワークショップを、23日には絵画、漫画のワークショップを開き多くの参加者に体験していただきました。また、閉会にはクロージングパフォーマンスとして障害者の方の演奏やダンスを披露し、障害理解や障害者の社会参加を促す障害者の芸術文化の活動を紹介いたしました。

展示会開催期間中は、多くの来場者の方々に障害者アート（パラアート）の魅力を堪能していただきました。また、この国際交流展の観覧を通じ、障害に対する理解を深めるとともに、障害のある方が芸術文化活動を通じて自己を表現し、社会とより広くかかわりを持ち、その自立と社会参加を一層促進し、ひいては、障害の有無にかかわらず、お互いを尊重しながら共生する社会の実現に繋がっていくことを改めて確認することができました。

以上の事業を終了後、その成果物として、報告を兼ねた「図録」を編集、1月末に完成し、海外を含め、関係方面に配布、これからの取組や活動の機会拡大につなげることができました。

成果の広報・公表

〈「2019 パラアート TOKYO」国際交流展の広報等〉

1. 日本チャリティ協会ホームページ掲載
国際交流展の開催概要及び出品作品等の紹介などの広報活動
2. 日本チャリティ協会広報誌「チャリティ・ニュース・クォーターリー」配布

国際交流展の開催概要掲載による広報活動
(発行部数：1,500部)

3. 国際交流展報告書(図録)作成
国際交流展図録送付による関係諸団体への広報活動(発行部数：500部)
4. 国際交流展のテレビ放映等
としまテレビ放映及び新聞(読売新聞、福祉新聞)掲載
5. 「SEBIT 2019 / 東京都専門学校アート&デザイン展」
パラアートコーナーでの展示及び広報活動(ワークショップ)
期日：令和2年2月20日(木)～26日(木) 会場：東京都美術館

今後の展開

1. 第7回国際交流事業(「2020 パラアート TOKYO(仮称)」国際交流展)の開催
いよいよ2020年東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。「障害者のスポーツ」とともに「障害者の文化」の重要性を「パラアート」という呼称の国際的周知とともに、障害者の幅広い活動とその作品の認識をレガシーとして、日本から広く内外に発信する活動、「2020 パラアート TOKYO」国際交流展がその起爆剤の一助になることを願い開催を意図するものです。

会期：令和2年8月予定 [5日間]

場所：東京芸術劇場

2. 「パラアート国際交流シンポジウム」の開催
過去50年における日本の障がい者アートの歴史を振り返るとともに、障がい者アートが担う社会の役割と、その将来の展望について話し合う。